



## 活動暦

### 9月13日、審査会へ

平成22年度「元気なふるさと秋田づくり活動支援事業補助金」に申込み（北秋田振興局）をし、その審査会に三浦代表理事と事務局の川井理事が出席。申請内容は、事業計画のNPO認証記念フォーラムに關した事業費への20万円の補助です。採択の通知が届き具体化していきます。

### 北秋田市をリサーチ

補助金審査会当日、森吉山ダム及び資料館など北秋田市の資源を見て来ました。他に、観光案内所や直売所などが入っている四季美術館、鷹巣で比内地鶏のメニュー、児童公園内にあるS.L.、綴子神社と大太鼓館です。教育委員会にも伺い、新しい市立病院も。

あまり知られていない地域資源の多さにびっくり。地域の歴史や文化、人、情報などのネットワーク化の重要性を改めて感じました。

### 9月14日、採択説明会

アミタ持続可能経済研究所（京都）の公募に申込みしていたところ採択され、事業展開していく上での説明会が事務局近くの施設で行われました。一部訂正などがあり、事業開始にはまだ至っていませんが、今後の事業推進について確認し合いました。県内で男鹿と2カ所採択されています。



NPO法人認証申請  
秋田内陸線沿線地域エコミュージアム会

事務局/〒014-1114  
秋田県仙北市田沢湖神代字古館野488番地  
TEL.080(6004)8859・川井 FAX.0187(44)3030 発行日/平成22年10月7日(増刊)

これは株式会社アミタ持続可能経済研究所の公募で、当会が申込み採択されたものです。秋田内陸線沿線の地域資源を掘り起こし、内陸線を活かした着地型観光の構想を策定することが目的で、エコミュージアム構想を具体化していくための計画づくりが事業の骨子です。取組内容については下記のようにまとめております。沿線住民にも参加していただき、人や生活・歴史文化など地域の資源発掘を行ってサテライト（小さな博物館）づくりを促します。既存の資源も絡めながら、これらのサテライトを連携させ、ネットワークを図る「エコミュージアム構想」を策定します。

## 「山村再生プラン」採択事業の概略

- 事業名称/秋田内陸線沿線地域エコミュージアム構想づくり  
 事業内容/①既存の地域資源を生かした施設を「環境と経済、学ぶ」で整理  
 ②新たな地域資源を発掘してサテライトづくりを行う  
 ③内陸線を活かした着地型観光の構想を策定する  
 取組内容/計画事業(100%補助)  
 ①エコミュージアム構想づくり  
 展開のサテライト(環境と経済、学ぶ)ビジネスモデルの研修:アドバイザー井原満明氏  
 ②既存の地域資源活用及び地域資源の掘り出しと活用  
 既存施設の収集と整理、新たな資源の発掘  
 駅とその地域集落のワークショップ(予定:阿仁マタギ・合川)  
 地域(地元)にコーディネーターを依頼しながら住民参加を促す  
 ③サテライトの設定とネットワーク及びエコミュージアムによる  
 グラウンドデザイン  
 成果品として、沿線の地域資源とネットワークを表した「内陸線エコミュージアム構想図」を作成(印刷別途予算・販売収益)  
 2駅集落散策マップの作成(印刷別途予算・販売収益)  
 試行事業(50%補助)  
 ①地域資源を生かした「着地型観光」に対するモニターツアー実施  
 アドバイザー:JR阿部和彦氏  
 事業規模/①計画事業200万円・試行事業10万円(事業完了:翌年3月10日)

秋田内陸線沿線地域エコミュージアム  
 グラウンドデザイン(構想)づくり  
 着地型観光の具体化に向け、今年度中に計画を立案!

前公立秋田美工短大学長

## 石川好先生をお招きして

## NPO認証(予定)記念 内陸線フォーラム開催

日時/11月13日(土) 午後1時開会予定  
 会場/阿仁山村開発センター 北秋田市阿仁庁舎隣り

第1部=石川好先生のご講演 入場無料  
 ※エコミュージアムについて/井原満明氏  
 第2部=秋田内陸線ワークショップ  
 [駅周辺の宝物さがし]をテーマにグループ討議していただき発表  
 ワークショップはどなたでも参加できますが先着100名様までとさせていただきます。  
 参加者事前申込